

第55回 俳句を楽しむ会

「かわせみ会」 会報

1 開催日 2023年 1月26日 13:00～(15:00) 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名

3 今回の季語 一月(睦月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 * 下線を表した句は、参加者本人の特選句!

元朝やまずは仏のお灯明

待春やせめぎ合ひたる絵馬の数

初詣二拍の御加護妻にあれ

朝日射し枯れ木の小枝雪の華

朝の道梅花にふわり綿ぼうし

孫ら去りのこりおせちを妻ととる

去年今年忘れることも活きる術

読み返す封筒一通初便り

梅も咲き願い叶うか天満宮

指差して季語字数ヨシ初句会

水尾広げ流れのままにはぐれ鴨

目ざめれば日は中天に初日の出

春小袖想い出深し母の舞



5 講評・添削 披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・初詣 卯の御符受け 福来たる

中七読み方: ウノゴウフウケ

・水尾 広げ流れのままにはぐれ鴨

ミオ ⇨“(水鳥)が泳いだ後に出来る水の筋”の表現

・待春 やせめぎ合ひたる 絵馬の数

タイシュン ⇨“春の訪れを期待する気持ち”の意味

・去年今年 忘れることも活きる術

コゾコトシ ⇨“行く年くる年時の流れの中で感慨込めて新年”を言い表す言葉

・元朝 やまずは仏のお灯明

ガンチョウ ⇨“元旦の朝”を意味する表現

・雪雲 に手を冷やし子が駆け回る

⇒冷たい風を意識した表現の方がよいのでは ⇨“北風に”

・いてる 朝ひかり差し込む里の谷

⇒漢字による表現が良いのでは ⇨“凍てる”

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・真冬日 に 香水ぬるし 御香宮

*この句の中で、季語重なりに見えるが、“香水ぬるし”の香水は

“ご香水”と呼ばれる湧水のことで季語の対象ではない!

⇨ 年中≒18～20° の水温で冬は暖かく感じ、夏は冷く感じる。

選外句

- ・初詣卯の御符受け福来たる
- ・熱高く妻やさしさの卵酒
- ・雪晴れの朝の陽ざしにぬくもりて
- ・我が家では七草もどき五種粥や
- ・初氷り鏡とはしゃぎ孫ポーズ
- ・初言の恨み知る我が街
- ・雪雲に手を冷やし子が駆け回る
- ・帰りバスカニの匂いと寝息かな
- ・コロナ禍に俳句の友あり冬語う
- ・お年玉孫に紛れて妻の手も
- ・真冬日に香水ぬるし御香宮
- ・いてる朝ひかり差し込む里の谷
- ・一つずつ家事をこなしておでん酒
- ・雪やこんこ口開け踊る吾の哀れ
- ・年玉や口は生意気眠は無邪気
- ・初マラソン走る淀川晴着きて

誤字訂正

- ・お年玉孫に 粉 れて妻の手も
- ・年玉や口は生意気 眠 は無邪気

6 次回(#56)開催日 2023年 2月23日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 二月(如月)の季語全般

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

歳時記を参考に!

注2) “五七五”の17音(文字)を満足すること!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ